

3 3 地下タンクからポンプ設備に燃料を供給する配管の継手部分が劣化していたため、重油が流出した事故

1 発生年月

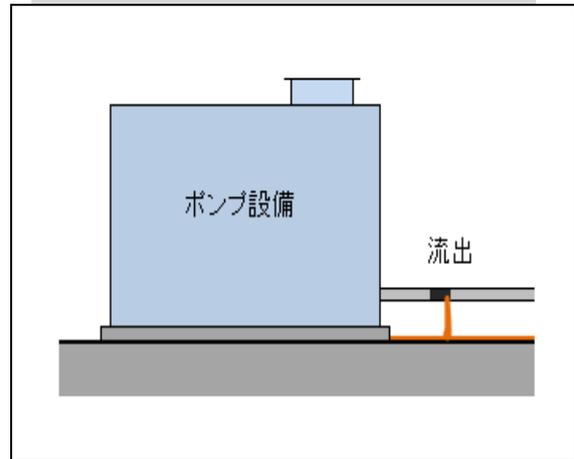
平成25年2月

2 施設区分

地下タンク貯蔵所

3 物質区分

第4類第3石油類（重油）



4 事故概要

地下タンク貯蔵所からポンプ設備に燃料を供給する配管から重油が流出した。

5 事故原因

配管に使用されていた継手部分が劣化していたため、そこから配管内の重油が流出した。

6 対策

- ・ 定期点検（法定点検）の他、日常点検（自主点検）を徹底し、配管や接続部分の破損や腐食の早期発見に努める。

<関連する過去の事故事例>

- ・ 「1 地下埋設配管の腐食による灯油の流出事故」（発生年月：平成22年1月）
- ・ 「25 地下タンク貯蔵所とボイラーのサービスタンクをつなぐ地下埋設配管が腐食して重油が流出した事故」（発生年月：平成23年4月）等

<関連する保安教育資料>

- ・ 「31 腐食について（1）」（平成22年5月発行） ・ 「32 腐食について（2）」（平成22年6月発行）
- ・ 「43 日常点検の実施について（2）」（平成23年5月発行）